

春季永代経法要

『^{しょうじいちによ}生死一如』……^{ごと}生と死は一つの如し。

仏教の言葉に^{しょうじいちによ}「生死一如」という言葉があります。

「生」と「死」は一つのこと、別々のことではないという意味の言葉です。

しかし我々は「生」という言葉には喜、善、プラス、明、暖というイメージを持ちますし、

「死」は反対に悲、悪、マイナス、暗、冷を連想します。

どう考えても別々で、接点もない、矛盾するものだと思ってしまう。

とても「一つの如し」とは思えません。

子どもが生まれた時のことを思い出してみてください。

新しい「いのちの誕生」で、周りは「生」の喜びに包まれます。

しかし新しい出逢いは悲しい別れの始まりであり、

生を受けるということは「死」へのスタートでもあります。

生と死は一見矛盾する事柄のように見えますが、

果たしてそうなのでしょう……？

今回の永代経は^{しょうじいちによ}「生死一如」という言葉を手がかりとして、
生と死、善と悪、喜びと悲しみについて考えてみたいと思います。

皆様方の参詣を心よりお待ちしております。

期 日 2011年3月21日（月曜・春分の日）
時 間 午 前 10時～12時（おときは準備します）
午 後 1時30分～3時30分
講 師 佐々木 一実（安順寺住職）
会 場 安 順 寺

真宗大谷派 安 順 寺

名古屋市昭和区鶴舞 4-15-20

TEL 052-731-8785 ・ FAX 052-731-8800

